

暑熱対策を行いましょ

7月中旬以降の記録的高温と今後の見通し

(気象庁 平成30年7月23日17時00分)

○7月中旬以降、太平洋高気圧に覆われて、晴れて**気温のかなり高い日**が続いています。

○気温の高い状態は8月上旬にかけて続き、最高気温が35度以上の猛暑日が続く所もある見込みです。

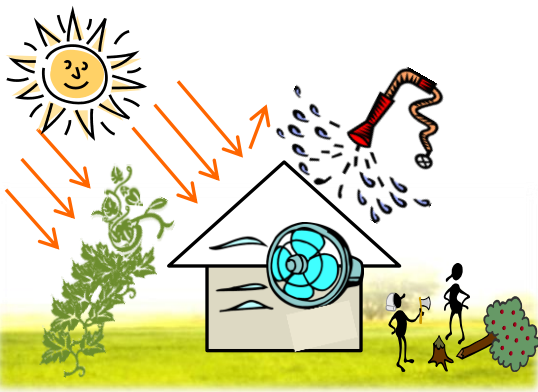
暑熱対策のポイント

1. 畜舎内に熱をためない

- ◆屋根、壁の断熱材の利用・点検
- ◆石灰乳・白色系塗料の塗布
(屋根の熱侵入対策に断熱材)
- ◆屋根・運動場への散水器具の点検
- ◆緑のカーテン、寒冷紗、よしず等の利用
- ◆畜舎回りの除草、剪定で風通しを確保

2. 餌と水のくふう

- ◆嗜好性の高い飼料の給与
- ◆ビタミン、ミネラルの補給
- ◆涼しい時間帯の給餌
- ◆重曹の飼料添加
- ◆新鮮で冷たい水の十分な給与



3. 畜舎内の熱を追い出し

- ◆換気扇、扇風機、ダクト送風機などによる送風
⇒体熱が蓄積される夕刻～夜間の送風が有効
- ◆細霧装置(水の気化熱による温度低下)の利用
⇒送風機との併用が効果的
- ◆熱発生量の少ない飼料の給与
⇒粗剛なものほど餌をかむ回数が増え発熱が多い
- ◆飼育密度の低下 (夜間放牧の実施など)

4. 空調機器等の清掃、点検により運転コストを下げる

- ◆空調フィルターは定期的に交換し、換気量を維持しましょう
- ◆送風機(ファン、モーター)についたクモの巣、ホコリを払いましょう
- ◆畜舎周囲に取り付けたネット(防鳥・防虫)のホコリを払いましょう
- ◆換気用の窓、換気口の開閉・修繕をしておきましょう



◎毎年ブリーダー農家で、換気扇・給水器の故障による被害が散見されます。事故のないように点検を行いましょ。



畜舎の構造にもよりますが、ペットボトルに氷を作り繁殖雌家畜の背中(首～肩)に滴下する方法も有効です。



台風・大雨対策を行いましょう

気象情報に十分注意して、畜舎・家畜の被害防止、伝染病の侵入防止に努めましょう。

事前の対策

- 1 公表されているハザードマップを確認ましょう。
- 2 避難先や避難経路をあらかじめ検討し、災害時の緊急連絡先(市、農協等)を確認ましょう。
- 3 畜舎の損傷、倒壊のおそれがある所は、必要な修繕・補強を行いましょう。
- 4 浸水の恐れがある場合は、排水溝の清掃、設置などの備えをましょう。
- 5 停電や浸水に備え、発電機や排水ポンプ等の準備ましょう。
- 6 飼料や燃料は、1週間以上の家畜に必要な量を計画的に準備ましょう。
- 7 飲水用の貯留タンクを設置したり、くみ上げポンプなどを準備ましょう。

被害拡大防止の対策

- 1 避難勧告が出された場合は、**人命を最優先**させた行動をまします。
- 2 しばらく飼養管理作業が出来ない可能性を考えた対応・対策を講ずる。
- 3 天候の回復後、安全を確認した上で施設や圃場を点検する。
- 4 機械への通電を再開する際には、手順を確認し、漏電やショートに注意する。
- 5 飼料の搬入等が長期間困難な場合には、生命維持を優先にした飼料管理に変更。



被災後の対策

- ・ 畜舎内・周辺の排水、乾燥、消毒
- ・ 流入した土砂の除去
- ・ 畜舎、飼料タンク、牧柵、防鳥ネット等の施設設備の点検、補修、洗浄、**消毒**
- ・ 品質が悪化した飼料の給与中止
- ・ 飲水に適した水の給与
- ・ 家畜の健康状態を確認し、けがの確認や疾病発生予防の実施、早期の診療依頼
- ・ 雨水や泥で効果低減するため、踏込槽の消毒液を交換

